

授業科目名	国文学 (2100131)		
時間割名	国文学 (22109)		
時間割担当	阿尾あすか		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	火・2		

授業の目標・概要

前期の国文学入門に引き続き、中学高等学校の国語教師として必要な古典文学に対する知識をより発展的なものにするを主な目的とする。講義では、平安時代から江戸時代までの散文の歴史の変遷と各時代の文学の特色についてみていく。平安時代の女流日記、物語を中心として、これに間接・直接的に影響を受けた鎌倉時代の随筆、江戸時代の物語を取り上げ、そこに描かれた人間の姿について講じる。

学習の到達目標

- 1) 平安時代から江戸時代までの散文の歴史の変遷と各時代の文学の特色についての知識を身に付ける。
- 2) 文章に表された登場人物の心情を正確に読み取ることができる。
- 3) 文章が表そうとした人間像、作品のテーマについて、内容から読み取ることができる。

授業方法・形式

講義形式で行う。講義の中で、グループや個人でのワークに取り組み、講義内容についての理解を深める。学んだことは発表し、意見共有を行う。講義終了時にその時間内の学びを振り返りシートにまとめる。

授業計画

- 第1回 導入 「物語」とは何か、近代以前の日本人の「物語」観
- 第2回 平安時代の物語について 物語の誕生 『竹取物語』と『伊勢物語』
- 第3回 平安時代の物語について 平安時代物語の特徴 『伊勢物語』
- 第4回 平安時代の日記文学について 文体と性質 『土佐日記』
- 第5回 平安時代の日記文学について 自照性 『蜻蛉日記』
- 第6回 平安時代の物語の表現について
- 第7回 平安時代の物語について 心の追求 『源氏物語』
- 第8回 平安時代の物語について 女性の生き方 『源氏物語』
- 第9回 平安時代の物語について 歴史物語 『栄花物語』『大鏡』
- 第10回 平安時代の日記文学について 物語と人生 『更級日記』
- 第11回 平安時代の物語について 新しい価値観 『堤中納言物語』
- 第12回 鎌倉時代の散文 『徒然草』
- 第13回 江戸時代前期の物語 井原西鶴
- 第14回 江戸時代前期の物語 上田秋成
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。

成績評価の基準

振り返りシートの記述やワークでの取り組み、発表内容など(50%)
 学期末のレポート課題(50%)

準備学習・復習及び授

- 1) 注釈書、映画・漫画などのメディア、ウェブサイト、事典などを活用して、シラバスに挙げられた作品の内容について予習しておく。
- 2) 中学高等学校教科書に目を通しておく。
- 3) 講義で取り上げる作品の中で特に興味を持った作品について調べたことを小レポートにまとめ、発表する。
- 4) 講義で取り上げた作品に関する書籍やメディアを調べて読み、内容についての理解を深める。

履修上のアドバイス

「文学」「国文学入門」の講義をすでに履修していることがのぞましい。自分で先に予習して、調べた内容を小レポートにまとめてくるなど、能動的な学習態度を求めます。取り上げた作品について、中学・高等学校の教科書でどのような部分に取り上げられているかを調べておいてください。

教材・教科書

講義中に配付するプリント

参考書

学校教科書・国語便覧・中村真一郎『王朝物語』(新潮文庫)